

第1回世界ろう者テニス選手権大会および第8回アジア太平洋スポーツ競技会（テニス）出場選手による強化合宿に佐野村学先生がトレーナー帯同されました

6月13日、14日に三重県鈴鹿市にある鈴鹿スポーツガーデンで行われた第1回世界ろう者テニス選手権大会および第8回アジア太平洋スポーツ競技会のテニス競技に出場する日本代表選手による強化合宿に佐野村学先生がトレーナー帯同されました。

今年の7月18日～28日にイギリスで世界選手権大会が開催され、10月1日～9日に台湾でアジア太平洋スポーツ競技会が開催されますが、今回の合宿では男女各4名の代表選手が合宿に参加されました。初日は強化練習が行われ、2日目は地元テニスクラブの方々との練習試合が行われました。本合宿に帯同した佐野村学先生は、ウォーミングアップやクーリングダウン、練習や試合中に発生した傷害の対応、選手のコンディションチェックなどを行われました。また、初日のミーティングでは「大会に向けたコンディショニング」をテーマにセルフコンディショニングやセルフケアについて選手やスタッフの方々にお話しされました。

2日間の合宿に帯同した佐野村学先生は、「世界大会およびアジア大会が近づいている中、緊張感ある練習や試合に帯同させていただき、とても充実した2日間を過ごすことが出来ました。特に初日の夜のミーティング時にお話しさせていただいたセルフコンディションチェックやセルフケアの方法などについて、選手やスタッフの皆さんに関心を持っていただけたことがとても良かったと思います。これから大会に向けて益々厳しい練習が続くと思われませんが、日本代表選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようにトレーナーとして精一杯サポートしていきたいと思えます。」と話されました。

